

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成22年5月6日 (2010.5.6)

【公開番号】特開2008-229052(P2008-229052A)
 【公開日】平成20年10月2日 (2008.10.2)
 【年通号数】公開・登録公報2008-039
 【出願番号】特願2007-73675(P2007-73675)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 7

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】
 【提出日】平成22年3月18日 (2010.3.18)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技領域が形成され、該遊技領域に向けて打ち込まれた遊技球が流下可能な遊技盤と、前記遊技領域へ遊技球を発射するための発射装置と、前記遊技領域に配設され、該遊技領域を特定入球口が設けられる第 1 の遊技領域とその他の第 2 の遊技領域とに区画形成する入賞装置と、前記第 2 の遊技領域に打ち込まれた遊技球の前記第 1 の遊技領域内への進入の確率が高くなるように動作可能な可動片と、該可動片を所定の動作態様で駆動制御する可動片制御手段と、を備え、前記第 2 の遊技領域に打ち込まれた遊技球が前記可動片による動作を通じて前記第 1 の遊技領域内に進入し、該進入した遊技球が前記特定入球口に受け入れられたとき、遊技者に有利な特別遊技を行う遊技機であって、

前記第 2 の遊技領域に配設される始動口と、

前記始動口に遊技球が受け入れられたことを検出する始動口検出手段と、

前記始動口検出手段による検出に基づいて複数種類の当選種についての抽選処理を行う当選種抽選手段と、

前記当選種抽選手段の抽選結果に基づいて前記特別遊技の遊技態様を複数種類の遊技態様から決定する特別遊技決定手段と、

前記当選種抽選手段の抽選結果が前記特別遊技の実行契機となる当りであるとき、前記特別遊技を行うにあたり、前記特別遊技決定手段により決定された特別遊技の遊技態様に制御する第 1 の特別遊技制御手段と、

前記可動片の動作を伴う補助遊技において前記特定入球口に遊技球が受け入れられることを条件に、前記特別遊技を行うにあたり、前記特別遊技決定手段により決定された特別遊技の遊技態様に制御する第 2 の特別遊技制御手段と、

前記当選種抽選手段の抽選結果が前記可動片の動作契機となる当りであることに基づいて前記補助遊技における前記可動片の動作態様を複数種類の動作態様から決定する補助遊技決定手段と、

前記当選種抽選手段の抽選結果が前記可動片の動作契機となる当りであるとき、前記補助遊技を行うにあたり、前記補助遊技決定手段により決定された可動片の動作態様に制御する補助遊技制御手段と、を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記特別遊技決定手段は、前記当選種抽選手段の抽選結果が前記可動片の動作契機となる当りであるとき、前記補助遊技決定手段による前記可動片の動作態様を決定するタイミングで、前記特別遊技が行われるか否かに関わらず前記特別遊技の遊技態様を決定することを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

前記補助遊技決定手段に決定された前記可動片の動作態様が前記第 1 の遊技領域内に遊技球の進入する割合の高い動作態様であるほど、該進入した遊技球が前記特定入球口に受け入れられる割合が高いことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の遊技機。